

# 町政を問う!!

12 議員が質問・提案を

## 震災対策

### 水確保に井戸の登録は

### 自主防災会等と協議調査



ふじもと いわよし 議員  
藤本 岩義

ので関係会議で協議し強化を図りたい。  
災害時の水の確保は、井戸水や谷水の活用も必要と考える。自主防災会等にも協力を仰ぎ調査を協議する。

**問** 8月8日に出された地震速報(誤報)における町職員、教職員の初期行動は十分できたか。また、災害時の水の確保は重要であるが、水道が被災し使用できなくなったことを想定し、町内の井戸を調査し、災害時に協力頂ける井戸のリストを作成する考えは。

**答** 松本 情報防災課長

8月8日の地震速報(誤報)がされたとき職員が適切な反応をしたか検証をした。相当多くの問題があると思われる。

## 情報基盤

### 民放4局化はいつか

### 本年度中に実施

**問** 何回も日延べになっている民放4局化はいつになるか。

**答** 松本 情報防災課長

予定が日延べになっているが話は順調に進んでおり、本年度中に実施を目指している。

## 学校給食

### 食物

### アレルギー対策

### マニュアルを作成

**問** 食物アレルギー対策は万全か。調布市立小学校でのアレルギーによるショック死を受け、文科省はアレルギー対応中間報告で、各学校対応マニュアル作成と全教員の研修、主治医・学校・保護者の情報の共有等必要としている。町はマニュアルは作成しているか。また、尊い命を守るために文科省の配布しているガイドライン(指針)は全教職員の手元に配布すべきではないか。

**答** 畦地 教育次長

黒潮町も食物アレルギーに関する基本的な考え方の文書は作成しているが調布市の事故報告書を見ると十分でないと考え。今回の給食実行委員会や校長会等の会議でマニュアル作成を協議していく。ガイドラインは全教職員

## 漁業対策

### 小型船への援助は

### 意見を積極的に聴く

**問** 小型船の就労者は高齢化が進み後継者もいないまま黒潮町の水揚げに貢献している。しかし、燃料高や操業器械(GPS等)の修繕等が大変である。「元気なうちは海で働きたい」この思いをかなえるために町は意見や要望を十分聞き、対応すべきでは。

**答** 浜田 海洋森林課長

7月に行った漁協の支所長との協議ではこの要望は出てこなかったが、毎月行なわれている地区別委員会等に参加し意見等を聴いて対応を検討する。